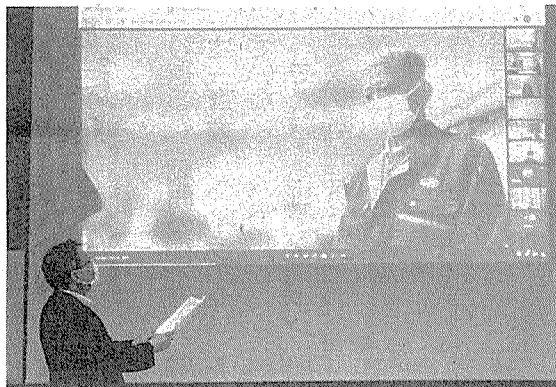


ピック作業で生産性向上

川崎陸送◆QCC大会



⑤ オンラインでMixジュース代表者に表彰状を読み上げる樋口社長

川崎陸送(樋口恵一社長、東京都港区)は6日、東京都トラック総合会館(新宿区)で、QCCサークル(小集団活動)代表発表大会を開催した。予選を勝ち抜いた精鋭11サークルが独自のテーマを設定して取り組んだ改善活動の成果を発表。この結果、ピッキングの生産性向上に向けて継続的に取り組んでいる京都営業

所の「Mixジュース」が1位の優秀賞に輝き、前回大会に続いて連覇を果たした。今大会も前回に引き続き、会場とオンラインの併用で実施。役員幹部や大会運営事務局、都内の拠点に所属する一部参加者が会場に集まった。優秀賞のMixジュースは、曜日別で生産性に差が表れていたことに着目しつつ、目標や対策を設定。事前ピッキングのルールや作業方法を見直しつつ、レイアウト、作業順序の変更などに取り組んだところ、生産性向上とコスト削減を実現させた。今後更なる効率的なレイアウト変更などに努めていく方針だ。

表彰式で、樋口社長は「6月に続いたの連覇はまた数少ないサークルしか成し遂げていない。3連覇を目指して頑張る欲しい」とたたえた。このほか、2位の優良賞には事務所業務の分担を図って作業平準化を実現した赤穂営業所の「ひよこ物流」、3位の努力賞にはトラックの燃費向上に取り組んだ名古屋営業所の「金シャチ団」が選ばれた。金シャチ団は効率化に向けて運行計画が大きく変わり、燃費を過去の数字と容易に比較できなかった中で、積載重量と輸送距離を加味した新たな燃費指標として、トンキロ燃費の算出を実施するなど、特徴的な取り組みと改善効果が評価された。

また、各サークルの発表後、葛西流通センターが作業効率化に向けた新たな高所作業が可能な電動フォークリフト導入による改善効果などを紹介した。

(井内亨)